



昨年の第33回地域自治シンポジウムを機に、公民館を核に、楽しみながらまちづくりの可能性を探る『KTTプロジェクト』を発足しました。

KTTとは「公民館を徹底的に使い倒す」の略。そのコンセプトの下で、この1年間「コウミンカンカフェ」を起点として、「コウミンカンビアガーデン」「コウミンカンリノベーション」など、大人も子どもも一緒にワクワクする企画を進めてきました。

今回のシンポジウムでは

「人がつながる空間リノベーション～私たちが創るまちの風景～」

と題し、富士見市、三芳町で公共施設や、公共性の高い場所で様々な地域交流の場をプロデュースしている登壇者の実践発表と『KTTプロジェクト』の1年間の歩みを交えて、今後の富士見市とその周辺エリアの新しい「まちの風景」を見出していきたいと思います。

あなたの住む街を、ワクワクする楽しい日常に変えるヒントを探しに来てください！

富士見市公民館運営審議会委員 関根 健一



プロフィール

あかし せいいち 明石 誠一 明石農園代表・ブルースカイ王国代表



photo by Mio Kakiuchi

1974年生まれ。東京都板橋区出身。三芳町在住。
 2002年 富士見市下南畑にある『渋谷有機農園』にて農業研修。
 2003年 400㎡の畑を開墾して新規就農。
 2004年 農林公社の就農支援をきっかけに畑を広げる。
 現在は、3ヘクタール(30,000㎡)の畑で60種類以上の野菜を自然栽培し、個人と自然食品店に出荷している。
 農業体験スクール「ソラシド」埼玉校講師。
 平地林の保全活動として「ブルースカイ王国」という団体を立ち上げ、「雑木林の演奏会」を毎年開催。
 そこでの活動費を雑木林の保全費にあて「稼げる雑木林」を目指している。妻と3人の子を持つ5人家族。

たかはし 高橋 まゆ カミトメマルシェ主宰・(株)高橋農園



所沢市出身。三芳町上富在住。
 防衛医大高等看護学院卒業後、看護師として勤務。
 夫は三富新田開拓当時から300年以上続く農家の11代目。
 敷地内同居の義父母、夫、三人の子どもと暮らす。
 2016年、三芳町農業センターの改修を機に、農業センター活用アイデアコンペやテーブル作りのワークショップに参加。
 2017年から年に2回ほど、農業センターと旧島田家住宅を会場として、「無理せず、楽しく」をモットーに、ゆるく集まったメンバーとカミトメマルシェを開催している。

みうら さちこ 三浦 佐知子 花とカフェ Ramb' s ear 代表・つるせバスケット朝市実行委員



朝霞市在住
 13年間の専業主婦を経て、2007年『花と雑貨と教室の店ラムズイヤー』をオープン。
 2014年 志木から現在の店舗(鶴瀬)に移転。
 2015年 空き物件だった隣接スペースを借り、カフェを併設し『花とカフェラムズイヤー』としてリニューアルオープン。
 開店当初からの「地域外からでもわざわざ来たくなるようなまちづくり」を目指し商店会に「朝市」を提案し、
 2018年9月に「つるせバスケット朝市」を開催。2019年には規模を拡大し、第2回を開催。
 日常の暮らしを楽しめるまちづくりを目指し、今後の活動を画策している。

せきね けんいち 関根 健一 Gee Design 代表・KTT プロジェクトオーガナイザー



1973年 富士見市水子生まれ・在住。
 1995年 家業の関根工業に入社し住宅基礎、外構などの施工に携わる。
 2010年Gee Design(ジーデザイン)を設立。障害者の就労訓練の場となる店舗や住宅の設計・デザインを手掛ける。
 障害のある長女の子育てを通して、障害福祉に関わりながら、誰もが暮らしやすいまちづくりに興味を抱く。
 公民館運営審議会委員任命をきっかけにコウミンカンカフェを企画。
 コウミンカンビアガーデン、コウミンカンリノベーションなど、地域の交流、子どもたちの体験を進めている。
 水谷公民館から徒歩10分の自宅で、ガレージをコミュニティスペースにリノベーションする計画も進行中。